

月/日	担当課(室)係名	電話	発表者名	その他資料配布先
10月20日(金)	兵庫県立歴史博物館 事業企画課	079-288-9011	次長 豊田 幸雄 (事業企画課長 鈴木 敬二)	県教育委員会記者クラブ 中播磨県民センター各報道機関

11月・12月のもよおしのご案内

開催日時	イベント名	イベント内容	会場	実施時間	料 金	受付期間・受付方法	備 考
10月7日(土) ～11月26日(日)	兵庫県政150周年記念先行事業 特別展「ひょうご秀吉 —近年の新紹介資料を交えて—」	豊臣秀吉は統一政権を樹立して中世を終わらせました。県域においても、織田信長の家臣として天正8年から9年(1580～1581)にかけて播磨・但馬・淡路を制圧するとともに、その後の支配制度の変革をとおして中世社会から近世社会への転換を導きました。秀吉に関しては、近年、たつの市や豊岡市などで、新発見の古文書の紹介が相次いでいます。本展では、こうした新資料を交えつつ、県域に伝来したものを中心に、秀吉の足跡を示す資料や、県域に定着した豊臣系大名に関する資料を紹介し、あらためて秀吉が県域の歴史において果たした役割を見直していきます。	ギャラリー	10:00～17:00 (入館は16:30まで)	一般:1000円 大学生:700円 高校生以下:無料		
11月5日(日)	現地見学会「三木合戦付城跡を歩く」 講師:前田 徹(当館学芸員)	秀吉の播磨攻めのクライマックスとなったのが天正6年～8年(1580～1582)の三木合戦です。秀吉勢が三木城包囲のために築いた付城跡のうち、1ヶ所を選んでご案内します。	三木合戦付城跡のうち1ヶ所(三木市内)	12:50頃 ～16:00頃	100円程(保険料) +路線バス代 (数百円程度)	往復はがきで申込み 受付期間は 10月24日(火)まで	定員20名 (応募者多数の 場合は抽選)
11月11日(土)	連続歴史講座 「古文書に親しむⅡ(近世編)①」 講師:大黒 恵理(当館学芸員)	当館学芸員による古文書の講座です。より多くの方に古文書の魅力を知っていただければ幸いです。	体験ルーム	14:00～15:30	無料	往復はがきで申込み 受付期間は 10月24日(火)まで	定員30名 (応募者多数の 場合は抽選)
11月11日(土)	れきはくロビーコンサート 演奏:兵庫県立姫路東高等学校 ギター・マンドリン部	姫路東高校ギター・マンドリン部による演奏です。午後のひととき、素敵な音色を聴きながら過ごしませんか。	ロビー	13:00～	無料		
11月12日(日)	館長トークイベント 館長鼎談「豊臣秀吉を語る」 講師:旭堂 南海氏(講師) 鼎談ゲスト:脇田 修氏 (大阪大学名誉教授、 大阪歴史博物館前館長) 北川 央氏 (大阪城天守閣館長) 当館より:藪田 貞(当館館長)	講師旭堂南海氏による講談『難波戦記』と、秀吉研究の第一人者をお招きしての当館館長との鼎談を行います。鼎談では、ゲストの方ご自身のこれまでの秀吉研究をお話しいただきながら、秀吉の魅力に迫ります。	あいめっせホール (イグレムひめじ3階)	13:30～15:00	無料	往復はがきで申込み 受付期間は 10月31日(火)まで	定員320名 (応募者多数の 場合は抽選)
11月18日(土)	連続歴史講座 「古文書に親しむⅡ(近世編)②」 講師:大黒 恵理(当館学芸員)	当館学芸員による古文書の講座です。より多くの方に古文書の魅力を知っていただければ幸いです。	体験ルーム	14:00～15:30	無料	往復はがきで申込み 受付期間は 10月24日(火)まで	定員30名 (応募者多数の 場合は抽選)
11月18日(土)	ひょうご歴史文化フォーラム 「発祥の地、赤松から考える —赤松氏研究の新展開—」	赤松氏発祥の地、上郡町の「赤松居館跡」の発掘と文獻調査をめぐる研究成果を、ひょうご歴史研究室を中心とするメンバーが、分かりやすく講演し、討議します。	上郡町生涯学習 支援センター	13:00～16:30	無料	当日受付	
11月19日(日)	特別展「ひょうご秀吉」 展示解説 講師:前田 徹(当館学芸員)	特別展「ひょうご秀吉—近年の新紹介資料を交えて—」の担当学芸員による展示解説です。	ギャラリー	11:00～12:00	特別展観覧料金が 必要		
11月19日(日)	友の会会跡ウォーク 「網干のまちを歩く」	加藤家・誠塾・丸亀藩陣屋門・山本家・大覚寺などを訪ねます。	網干駅周辺	9:00～12:00	100円(保険料)	往復はがきで申込み 受付期間は 終了しています	定員40名程度 (友の会会員のみ、 応募者多数の 場合は抽選)
11月23日(木・祝)	れきはくアカデミー⑤ 「ひょうご秀吉 —特別展出品資料から—」 講師:前田 徹(当館学芸員)	特別展出品資料から展覧会担当者おすすめ資料をいくつかご紹介いたします。新発見資料やとくに興味深い資料などについてお話しし、特別展をより深く楽しんでいただくための見どころをご紹介します。	ホール	14:00～15:30	無料	当日受付	定員100名 (先着順)
11月25日(土)	連続歴史講座 「古文書に親しむⅡ(近世編)③」 講師:大黒 恵理(当館学芸員)	当館学芸員による古文書の講座です。より多くの方に古文書の魅力を知っていただければ幸いです。	体験ルーム	14:00～15:30	無料	往復はがきで申込み 受付期間は 10月24日(火)まで	定員30名 (応募者多数の 場合は抽選)
11月26日(日)	歴はく倶楽部 「革でアクセサリをつくらう」	好きな形の革で、すてきなオリジナルアクセサリをつくらいます。	ロビー	①10:00～11:30 ②13:00～14:30	100円	当日受付 受付時間は ①11:30まで ②14:30まで	午前・午後各25名 (先着順)小学4年生 以下のお子様は要 保護者同伴
12月1日(金)	歴史の旅② 「旧福知山線の鉄道遺産を訪ねる」 案内:鈴木 敬二 (当館事業企画課長)	昭和61年(1986)に廃止された、旧国鉄福知山線の生瀬～武田尾間の廃線跡を散策します。この区間はもともとが阪鶴鉄道という私鉄が明治32年(1899)に開通させたものであり、現存する当時の鉄道構造物を訪ねます。できれば懐中電灯をご持参ください。	西宮市北部 武庫川沿い	13:00～17:00	300円 (友の会会員は 無料) +別途実費	往復はがきで申込み 受付期間は 11月10日(金)まで	定員30名 (応募者多数の 場合は抽選)
12月3日(日)	地域講演会③ 「尖栗のたたら製鉄」 講師:田路 正幸氏 (尖栗市教育委員会 教育部次長)	尖栗は、奈良時代初頭の『播磨国風土記』の記事以来、近代まで盛んに鉄づくりが行われた地域です。とりわけ中世から近世には「千草鋼」として、刀剣材料の最高品質を誇ったといわれています。近年の製鉄遺跡の調査成果を中心に尖栗の鉄づくりの歴史を紹介します。	ホール	14:00～15:30	300円 (友の会会員は 無料)	当日受付	定員100名 (先着順)
12月10日(日)	歴はく倶楽部 「粘土で干支のいぬをつくらう」	粘土で形をつくり色を塗り、2018年の干支のいぬをつくらいます。	ロビー	①10:00～11:30 ②13:00～14:30	100円	当日受付 (ただし受付は、 ①11:30まで、 ②14:30まで)	午前・午後各25名 (先着順)小学4年生 以下のお子様は要 保護者同伴
12月11日(月)～18日(月)			臨時休館 (館内調整のため)				
12月24日(日)	れきはくロビーコンサート 演奏:姫路市立広瀬中学校 コーラス部・合唱団「響」	広瀬中学校コーラス部・合唱団「響」による合唱です。午後のひととき、素敵な歌声を聴きながら過ごしませんか。	ロビー	14:00～	無料		
12月29日(金)～1月3日(水)			年末年始休館				



兵庫県立歴史博物館
Hyogo Prefectural Museum of History

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地
TEL:079-288-9011 FAX:079-288-9013
http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo